



No.157

平成29年6月1日

議会広報



P2・3 平成29年度予算

P4 予算委員会質疑

P5 賛成討論及び反対討論

P6～11 一般質問

P12・13 議決結果

P14 みんなの声聞いてみました

P15 研修報告

P16 ワッタウムイ

P17 議会の活動

P18 題字提供はこの方



第2回3月定例会

一般会計は56億9,000万円 前年度比8,000万円余の増額予算

平成29年度各会計の当初予算案は、全議員で構成する予算審査特別委員会に付託され、執行部から詳しい説明を求め、集中的に審査を行った。

その結果、付託された6議案はすべて原案のとおり可決すべきものと決定された。

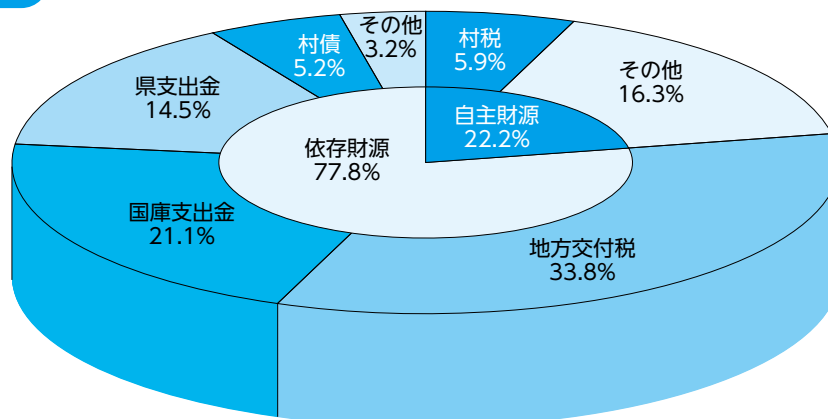
一般会計 歳出内訳(単位/千円)

議会費	72,363
総務費	750,770
民生費	933,448
衛生費	309,688
労働費	1
農林水産業費	999,881
商工費	373,371
土木費	267,963
消防費	24,744
教育費	1,441,544
災害復旧費	3,502
公債費	445,915
諸支出金	16,810
予備費	50,000
合計	5,690,000

一般会計 歳入内訳(単位/千円)

自主財源	村税	334,556
	分担金及び負担金	14,368
	使用料及び手数料	89,525
	財産収入	101,793
	寄付金	10,002
	繰入金	624,724
	繰越金	1
	諸収入	88,424
	自主財源合計	1,263,393
依存財源	地方交付税	1,921,745
	国庫支出金	1,198,344
	県支出金	826,730
	村債	295,000
	地方譲与税	42,241
	利子割交付金	158
	県民税配当市町村交付金	390
	県民税株式等譲渡所得割交付金	308
	地方消費税交付金	54,154
	ゴルフ場利用税交付金	1,907
	自動車取得税交付金	7,855
	国有提供施設等所在市町村交付金	75,915
	地方特例交付金	260
	交通安全対策特別交付金	1,600
	依存財源合計	4,426,607
歳入合計		5,690,000

歳入予算額の状況



平成 29 年

平成29年度予算総額

81億2,827万6千円(6会計)を可決

平成29年第2回(3月)定例会を、3月9日から17日までの9日間の会期で開催した。

本定例会では、平成29年度一般会計及び特別会計当初予算をはじめ、平成28年度補正予算など29件の議案を審議し、すべて原案のとおり可決した。

(審議結果の概要は12ページをご覧ください。)

平成29年度 会計別当初予算

会 計 名	予算額(千円)	前年度比増減額(千円)
一般会計	5,690,000	88,000
診療所特別会計	334,600	24,600
国民健康保険特別会計	1,126,709	-6,333
後期高齢者医療特別会計	67,552	1,069
水道事業会計	218,504	6,993
船舶運航事業会計	690,911	-23,718
合 計	8,128,276	90,611

☆一般会計と特別会計

一般会計は、村税などの収入をもとに、一般的な各種事業の事務を処理するための会計

特別会計は、受益と負担の関係を明白にするため国保税などの特定の収入をもとに、特定の事業の事務を処理するための会計

☆歳入と歳出

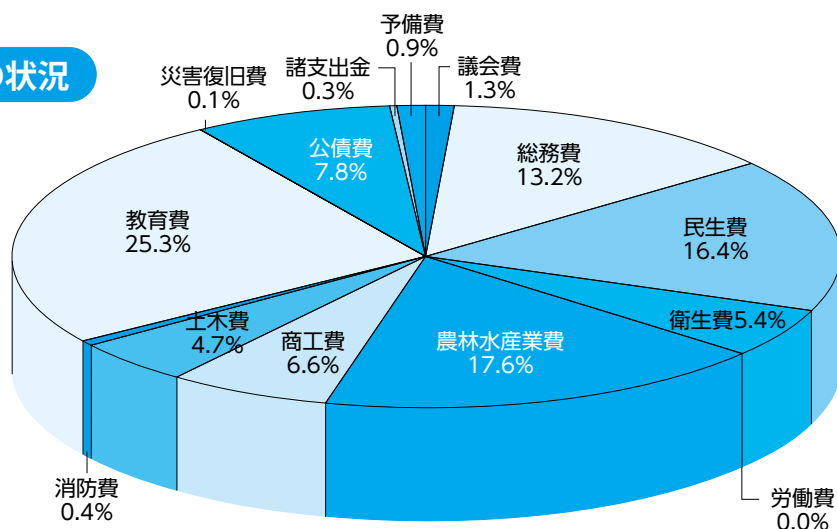
国又は地方公共団体(県・市町村)の一会計年度中における収入と支出

☆自主財源と依存財源

自主財源は、村が自主的に徴収または収納することができる財源のことで「村税」、「諸収入」など

依存財源は、国や県から交付されたり、割り当てられた財源のことで「地方交付税」、「国県支出金」、「村債」など

歳出予算額の状況



予算審査特別委員会質疑

問 ちゅうら島づくり応援基金繰入金に
関係して、お返しの品額が40%程度とありましたが、返礼品合戦がいろいろと話題になっている。40%というのは、県内市町村では高い水準なのか、低い水準なのか。あるいは市町村の平均というのはどのぐらいなのか伺いたい。

答 返礼品の率についてはほぼ平均ぐらいいで、低いところで30%、高いところで50%から60%ということになります。全国的にもすごく華美になり、返礼品合戦をやっているという御批判もあつたりしますが、応援したい自治体のまちづくりといえますか、村政に対する応援というのが趣旨でございますので、その辺はしっかりと踏まえながら対応をしてまいりたいと思います。

問 スポーツ交流センター整備基本計画策定事業、説明の中では合宿所の検討等とある。今現在、その合宿所の検討でどこに建てるのか、そういった基本的な考えをもっているのか伺いたい。

答 合宿施設の計画地につきましては、現在、計画を進めております。総合運動公園施設整備の近傍が望ましいものと考えております。今回の基本計画策定の中で、合宿施設からの移動可能距離等の調査検証や現地調査及び関係機関との協議調整を図りながら、既存施設の利活用も視野に入れた

あらゆる選択枠を考慮し、多面的総合的に判断をして、計画地の策定を今後検討していきたいと思っております。

問 屋内運動場のコートは人工芝使用である。各区にあるコートは天然芝であり、練習用と大会場とのギャップがかなり大きく、各区にも2面もっているうちの1面を人工芝に張り替えていただけないかという要望があるが、その対応はできないか伺いたい。

答 工事的な費用も含め調査研究し、平成29年度の中で、事業活用も含めながら、できるだけ老人クラブの皆さんの生きがいづくりであるゲートボールの要望ですので、応えるように頑張っていきたいと思っております。

問 全共進進捗策補助金50万円が計上されているが、伊江島の代表として伊江島牛を全国にピールするわけですので出品者が重荷にならないような、報償金を出した方が良くと思うが村としてどう思うか。

答 沖縄県、あるいは改良協会、JA、そして村の改良組合等々と連携を密にして、伊江村から全共に出品牛ができるような態勢を今後取り組みを強化していきたい。

出品として選ばれた畜主の皆さんに胸を張って、大会に臨んでいけるよう負担軽減も図りながら、全共に向けて取り組んでいきたいと思っております。

問 村外から、あるいは県外から大
人の皆さんが民泊をしなから、伊江村内にある歌碑めぐりをする傾向にあり、今後増えると思う。そこで案内人が統一した歌碑案内をするために、民泊関係者、案内人を含めて講習会を開催したと思うがどうか。

答 今回琉歌の講師をされる方と相談をして、今年琉歌の講座も、公民館講座も予定しております。またそれは別に歌碑についても、1回は講座を持ちたいと思っております。それは村民対象という形ですので、民間の皆さんもぜひ参加をしていただきたと思っています。

問 製糖工場から旅行村まで大きい
プラントターが置かれていたが、植えつけを福祉作業所に委託でされているということですが、役場で指示されるかもしれないが、何か丸投げのような感じで、金だけ払えばいいというような感じを受ける。やはり役場の担当職員が行ってチェックしないと現在も植えてすぐに枯れているのもあります。せっかくのお金を使っているのかという感じがしますが、どう考えているか。

答 担当課でしっかりと状況を把握し、的確な指示をして、しっかりと更新していくような体制が一番重要だと認識しております。今後はこういうことのないように、しっかりと管理をしていきたいと思っております。

管理をしていきたいと思っております。

問 団地の家賃に関して、ある程
度の所得を超えると一気に家賃が上がり、上限の10万7,000円になる。公営の家賃が高くなるのは、重々承知しているが、その金額の上限が10万円を超えるというのは、大都市並みの家賃ではないかと思う。算定基準が国の基準にのっとってしかできないという話もあるが、ぜひ村長平成29年度で調査をして、解決する方向で考えていただきたい。

答 今後役場を挙げて、調査、研修をして、何らかの軽減策が今後できるような方策がないか、頑張つて取り組んでいきたいと思っております。現状認識は、全く一緒でして、所得の低い、若い皆さんを伊江島で安心して生活できる住宅を提供していくという公営住宅の精神からして、その辺の部分をしっかりと検討をして取り組んでいきたいと思っております。

問 フェリー券売機のチケットは、
往路・復路とも全部、同じ白で年寄りの方は分かりづらいので困っている。窓口でチケットを買った行きが黒で帰りが赤と分かりやすいが、券売機もこれまであったような色つきはできないのか。

答 往路なのか、復路なのか、どつち
なのかわからないという、ただいまの御指摘同様、何件か伺っておりますので、改善に向けて、内部で検討させていただきますと考えております。

反対討論

■ 一般会計予算案

10番 名嘉 實 議員

本予算案は56億9,000万円、平成28年度当初予算比で8,800万円、1.57%増となっています。歳入では、地方交付税2,543万3,000円、国庫支出金4億4,068万8,000円の増。このうち、特定防衛施設対策交付金が、平成28年度4億9,156万9,000円から、9億6,814万1,000円へ、4億7,657万2,000円の増となり、歳入総額の17%を占めているのが特徴であります。県支出金は4,518万4,000円の増となる一方、地方消費税は2,064万2,000円、27.6%の減となっています。歳出では、農林水産業費で1億3,322万4,000円、商工費で1億2,716万9,000円の増が予算総額、対前年度比1.57%増の主な要因となっています。総務費では国民全員の個人情報を政府が掌握するためのマイナンバーカードの発行枚数が、村民全体のわずか7.9%であることが明らかになりました。この制度の必要性を多くの村民が受け入れていないことを証明するものであります。個人情報丸裸にする制度と言われるマイナンバー制度は、即刻廃止すべきであります。

ゴルフ場の運営補助金も前年度同額の700万円が計上されています。平成27年度ゴルフ場の損益は、実質、赤字の損益が700万

円の補助金によって530万円余りの黒字決算になりました。ゴルフ場利用税交付金は190万7,000円にすぎないゴルフ場への補助金は赤字分に限るべきだと考えます。

福祉、教育、医療保険の分野では、子どもの貧困対策として非課税世帯の保育料の無料化、就学支援費の増額、預かり保育料の補助金増額が計上されています。子育て支援事業では、預かり保育料の保護者負担軽減措置、給食費の軽減措置がなされていますが、入学支度金については、全国的に広がっている入学前支給を実施するべきだと考えます。医療保険分野では、子どもの医療費の村立診療所での窓口負担の増額計上がなされておりますが、平成28年度は年度途中から実施されたものであり、当初予算との比較はできません。窓口負担の無料化を全県の医療機関で実施できるよう、取り組んでいくべきだと考えます。総務費、県委託金では、本予算案にもわずかに2万円ではありますが、自衛官募集業務委託金が計上されています。

防衛費は安倍内閣になって増え続け、平成28年度当初予算としては初めて5兆円を超えました。平成29年度当初予算も前年度当初予算を上回り5兆1,251億円になっています。軍事力増強を推し進める安倍暴走政権にブレーキをかける上で、地方から反旗を翻すことを訴えるものであります。本予算案から自衛官募集業務委託金の返上を求め、平成29年度一般会計予算案への反対討論とします。

■ 伊江村船舶運航事業会計予算案

10番 名嘉 實 議員

本予算案にも米軍の航送計画が盛り込まれております。昨年10月31日には、米軍は村当局及び議会の軍艦の港湾使用反対申し入れを拒否し、米海軍のLCU202 揚陸艇を入港させ、海兵隊の高輝度装甲車を積載し入港しました。高輝度装甲車LAVは機関銃も装備した水陸両用装甲車です。

翌11月1日には時化のため、揚陸艇は入港せず、高輝度装甲車やハンビー型装甲車をフェリーに積載し、帰還しました。私はフェリーでの米軍航送には一環して反対してきましたが、当局は一般旅客運送法によって、米軍の航送は拒否できないとしてきました。本予算質疑の中では、海上運送法第12条、第13条によって拒否できないとされました。海上運送法第12条には、運送の引き受け義務として、一般旅客定期航路事業者は指定区間におい

ては、次の場合を除いて旅客手荷物及び小荷物の運送並びに自動車航送をする一般旅客定期航路事業者にあつては、当該自動車航送を拒絶してはならない。

1. 当該運送が法令の規定又は公の秩序、または善良の風俗に反するとき。2. 天災その他やむを得ない事由による運送上の支障があるとき。3. 当該運送が第9条の規定により認可を受けた運送約款に適合しないとき。第13条、不当な差別的取扱いの禁止、一般旅客定期航路事業者は、旅客手荷物及び小荷物の運送、並びに自動車航送をする一般旅客定期航路事業者にあつては、当該自動車航送をする場合において、特定の利用者に対し、不当な差別的取扱いをしてはならないと規定されております。12条も13条も、一般旅客に対する規定であり、米軍を一般旅客とすることには無理があります。法的にも無理な米軍の航送はすべきではありません。

平成29年度予算案から米軍の航送計画の撤回を求め、平成29年度船舶運航事業会計予算案に対する、反対討論とします。

賛成討論

■ 一般会計予算案

5番 内間広樹 議員

平成29年度施政方針において、互いに支え合い誇りをもって、豊かな気持ちで暮らし続けられる村づくりの理念のもとに、6つの基本方針と9つの主要施策が示されました。

産業振興、学校教育環境整備、学力向上、住民福祉の向上、子育て支援、医療の確保、保健の充実、道路、住宅等の整備、防災行政や情報基盤の整備、基地行政等々の施策に即したきめ細やかな事業計画と予算編成となっております。

制度創設をされてから、6年目を迎える沖縄振興特別推進交付金については、県内で唯一、完全執行は本村のみで、関係機関から好評価を受けているところであります。平成29年度は減額となりましたが、生活環境整備、学習支援、人材育成、交流事業と12の事業が計画をされ、引き続き完全執行されることを期待します。

学校給食費については、全児童生徒を対象とした半額助成が開始され、保護者の負担軽減になり、喜ばれるものと思慮します。今後も多様化、複雑化するであろう社会情勢の中、村民ニーズに対応する職務の範囲も幅広いものになると思いますが、議会での声は、村民の声と真摯に受け止めていただき、職員一丸となり、報告・連携・相談を怠ることなく、職務に邁進していただけますようお願い申し上げます。56億9,000万円の平成29年度一般会計予算案に対し、賛成いたします。

■ 平成29年度伊江村船舶運航事業会計予算案

9番 知念一邦 議員

近年は、民泊事業や観光客の増加により、旅客ニーズの多様化に伴い、バリアフリー化設備能力の向上を求められ、就航から25年を迎えるぐすくの代船建造も、沖縄県離島海運振興株式会社から発注され、着工に至り、平成30年7月就航予定であります。

今年度も沖縄振興特別推進交付金事業で、自動車コスト負担軽減事業や離島割引券システムモデル事業、伊江村ホームページサービス拡充強化事業で、より村民の負担軽減や1日五航海の周年運航に向けた可能性調査の実施で、ますますの利便性を期待するものであります。本村の観光振興と産業発展、住民生活の向上発展に、より一層の安全運航と、健全運営を確信し、平成29年度伊江村船舶運航事業会計予算(案)に対する賛成討論といたします。

村政のここを問う！

3月定例会 一般質問

① 漁船エンジンの再整備への支援について 村長／事業実施に向けて取り組んでいきたい

問

漁業を取り巻く現状はまだまだ厳しい状況にあり、特に漁船エンジンのメンテナンスやエンジンの載せ替えに多額の費用が掛かるため、大きな負担になっているのが現状である。漁業者の皆さんから話を聞いたところ他の漁協組合で、一般社団法人漁業経営安定化推進協会の補助による「省エネ機器導入推進事業」



渡久地 政雄 議員

答

近年、近海での漁獲の減少により、漁場の遠方化による燃油消費が著しい状況になっております。本村の漁船については、平成初期頃に購入した漁船が多く、そのエンジン等の維持管理費が負担増にあるというところを理解しているところであります。

を活用して、エンジンの載せ替えを実施した漁協があるという状況にあり、補助事業希望者が多いことや、事業の採択が非常に困難であるとのことである。

国（水産庁）の水産業競争力強化緊急事業の中で「競争力強化型機器等導入緊急対策事業」では、生産力の向上、省力省コスト化に資する漁業用機器等の導入を支援する事業がございいます。また、「水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業」を活用して、新船や中古船の導入を行っている地域もあるようですが、これらの事業においては、平成29年度より、浜の活力再生広域プランを策定している地域が採択要件となっているため、現段階ではこの事業は活用できない状況にありますが、現在、村・漁協・その他関係機関と調整して策定を進めている浜の活力再生プランの承認を水産庁へ申請中であり伊江村独自のプランは、平成28年度内には承認される見通しであります。



漁船のエンジンメンテナンス作業

漁協では、水産業競争力強化緊急事業等を活用できるよう、北部地域の広域浜プランの策定へ向けての協議を行っているという聞いております。村としても、他市町村と連携を図りながら、広域浜プランの策定を支援し、事業実施に向けて取り組んでいきたい。

② 2年保育の実施について

教育長／平成30年度実施に向け取り組んでいきたい

問

幼稚園の2年保育の実施年度とこれまでの検討会の進捗状況はどうなっているか。

答

平成27年4月より、「子ども・子育て新制度」がスタートし、本村の幼稚園教育においても、2年保育の普及・充実に資するため、四、五歳児の就園機会を確保することを目的に、伊江村幼稚園2年保育検討委員会を設置し、平成27年12月に検

討委員会を開催しております。その中で平成30年度実施を視野に協議を行いました。平成28年度は調査として、教育委員によりまず県内の事例を視察しております。さらには、平成29年度においても、教育委員による調査を深め、保護者への説明会等を開催し、平成30年度実施に向け取り組んでいきたい。



ソデカ荷降ろし作業風景

① 将来を見据えた伊江港湾整備計画を 村長／事業化に向けて取り組んでいきたい

問 県において、平成28年度内港内うねり対策を踏まえた対策案を決定し、29年度から実施設計に入る計画と聞いている。また、本村においては、伊江港西側の大口側を統合した新たな伊江港湾整備計画を検討している。そこで、3点ほど伺いたい。

1. 台風接近時にフェリーを港内で係留できる計画はあるか。
2. 大口側の背後地整備計画は
3. 高速船導入を見据えた大型の浮き橋を検討できないか伺いたい。



うねり対策等の整備が求められる伊江港



島袋 勉 議員

答

伊江港内の抜本的なうねり対策につきましては、沖縄県から対策案が示され、今年度で静穏度向上対策検討会議において確定し、沖縄北部連携促進特別振興対策特定開発事業推進費を活用し、平成29年度に実施設計に着手、平成30年度から平成33年度にかけて、港内静穏度を向上させるための波除堤、消波工、既設フェリーバース改良（マイナス5・0m岸壁）の整備が実施される予定でございます。

1点目と2点目につきましては、関連いたしますので、あわせて御質問にお答えします。

うねり対策案につきましては、これまで沖縄県港湾課と抜本的な静穏度対策及び台風時にフェリーが接岸可能な西側港湾施設の拡張案も強く要望してまいりましたが、費用対効果等の問題があり今後、うねり対策を実施しながら、西側港湾施設及び背後地整備の事業化に向けて、県も一体となって取り組んでいくと確認をしているところでございます。

3点目の高速船導入については、公営企業課において平成26年度に小型高速船旅客船就航可能性調査を実施、その結果、現状では高速船導入は厳しいとの結論に至っております。大型の浮き橋につきま

しても、現状では考えておりません。しかしながら、官民連携の国際クルーズ船の拠点港に選定された本部港の動向等を見極めながら、検討してまいりたいと考えております。

今後、うねり対策の着実な推進を図りながら、新たなニーズに対応可能な西側港湾の機能強化と背後地整備計画を策定し、沖縄県と連携しながら関係機関へ要請し、事業化に向けて取り組んで行きたい。



伊江港西側から臨む風景



浮き橋の様子



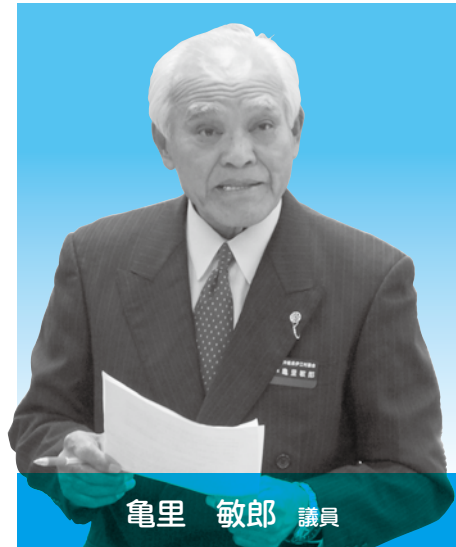
現在の背後地の風景

※一般質問の詳しい内容については公民館またはホームページの議事録をご覧ください。

①伊江島での海洋深層水利用システム開発調査について

村長／事業構築の可能性について調査検討を行っていききたい

問 沖縄県では、海洋深層水の特性を活用して、沖縄の産業振興に寄与することを目的として、平成12年度に久米島町で沖縄県海洋深層水研究所を開所している。



亀里 敏郎 議員

現在では、18の企業が参画して、久米島町の産業振興に多大な貢献を果たす実績で諸施設の拡大を進めているところだと言っている。

南大東島では、企業名（ノエビア）が南大東島海洋研究所を開所して水面から約200メートルの海水を採取し、高品質な天然海水塩や海水濃縮ミネラルをバランスよく抽出することができ、独自のプラントにて海水からの有効成分抽出の研究を行っています。また、島固有の植物を研究対象とし、サプリメント・医薬部外品・化粧品への応用研究もあわせて行っている。

南大東島では、新たな産業の創造、併せて過疎対策に大いに貢献できるものとの高い評価を得ているところです。北大東村でも、平成27年度にくみ上げた海水を浄化して、繰り返し利用するアワビの陸上養殖施設を完成させ、養殖の経過は極めて順調であるが、海洋深層水を活用できるのならば安定生産、あわせて生産量も格段と増加が見込まれる。なお、高品質の保持が容易となり、安定供給を生むと北大東村経済課の担当が言っていた。

そこで、伊江島においても、将来への展望として、海洋深層水利用システム開発に乗り出してはと提言するところであるが、村長の見解を伺いたい。

答

現在、全国に16力所の海洋深層水取水施設があり、久米島の沖縄県海洋深層水研究所は最南端に位置し、唯一の亜熱帯性気候にある施設として、車エビ養殖、海ブドウ養殖、葉野菜栽培、化粧品関係、食品関連など、

さまざまな分野で海洋深層水が活用されております。深層水関連企業が18社で、関連製品の生産額が年間約25億円、雇用人員が約170名で、久米島における一大産業となっているとのことであります。

また、沖縄の地域特性に合った、クリーンエネルギーの地産地消による環境負荷の低減及び、海洋深層水の利用高度化の促進を図るために海洋温度差発電実証事業が実施さ

れていることから、その実用化に向けた研究開発が加速するものと思われれます。

御質問の海洋深層水利用システム開発につきましては、今後の国、県の海洋深層水に関する施策の動向や、海洋深層水利用システムの技術開発の進展の把握に努めるとともに、本村での事業構築の可能性について、県と協議、調整を図りながら、調査検討を行っていききたい。



久米島町にある海洋深層水施設



深層水を利用した車エビ養殖



沖合より深層水を汲み上げる施設

① 医師住宅及び医療従事者の職員宿舍整備について

村長／職員宿舍建設に向けて取り組んでいきたい

問 村診療所は、平成28年度から医師が2・5人体制となり、診療体制も充実し村民からも大変喜ばれているが一方で、医師住宅や医療従事者の宿舍につきましては、民家やアパート等の借家を利用しており、十分な住環境とはいえない。今後、安定的に医師や医療従事者の確保を図る上からも医師住宅および医療従事者の職員宿舍の整備が必要と考えるが、村当局の意見を伺いたい。

答 村の医療体制は、人工透析センターの開設、リハビリ体制の強化、専門医外来（眼科・耳鼻咽喉科）開設、さらに緊急搬送船みらいの運用も相まって、医療の供給の充実が図られ、1日の平日時間内の患者数が100名を超える状況にあります。また、医師を初め診療所スタッフの「断らない医療」「患者さんに寄り添う医療」をモットーとした患者対応も診療所



山城 善彦 議員

の医療充実に寄与しているものと思われれます。

離島で持続的に医師や専門技士等を確保するためには、医師等医療従事者にとって、安全、安心かつ快適に暮らせる住環境の整備は必要不可欠なことを考えております。現

医師住宅は、平成7年度、平成8年度に建設された2施設があります。医療従事者の宿舍建設に向けて、既に事業構築に取り組み沖縄北部連携促進特別振興事業で要望し、調整したところであります。補助率2分の1や事業費の上限額等の決まりがあり、村負担額が大きいため取り下げた経緯があります。今後他の事業構築を模索し職員宿舍建設に向けて取り組みます。



現在の医師住宅



② MESHサポート運航支援について

村長／早期実施できるよう要請していきたい

問 MESHサポートは、平成25年度から沖縄北部連携促進特別振興事業を活用し、これまで沖縄の医療過疎地域、離島の救急医療を支えてきた。特に北部地域の緊急搬送を担ってきた役割は、非常に大きく地域に定着してきましたが、同事業の支援は平成28年度で終了とのことである。今後、MESHサポート会員や、民間企業、一般からの寄付金だけでは、運航に支障を来すのではと危惧される。このような状況に鑑み、村当局として、MESHサポート運航支援について、今後どのような支援策を考えているのか伺いたい。

答 北部地域における緊急搬送に加え、代診や専門医師の派遣も行い、MESHサポートの役割は非常に大きなものがあります。しかし、同事業は北部12市町村の財政事情も逼迫していることから、既定方針どおり平成28年度をもって終了することが、北部広域市町村事務組合理事会で決定をされました。

MESHサポート運航支援について、今後どのような支援策を考えているかにつきましては、沖縄県に厚労省事業の「巡回診療ヘリ事業」について確認をしたところ、ヘリを活用した専門医などを派遣し、離島の医療体制の支援拡充する事業で、救急医療活動は事業対象外と聞いております。引き続き北部広域市町村事務組合で、従来通り沖縄北部連携促進特別振興事業で早期実施できるよう、要請してまいります。



MESH 発着の様子

※一般質問の詳しい内容については公民館またはホームページの議事録をご覧ください。

① 保育料の軽減について

村長／全体的な保育料の軽減策を講じたい

問 「保育料を軽減してほしい。」これは、低賃金であえぐ若者の切実な声で伊江村の保育料徴収金基準額は、平成28年度に改定されました。保育料徴収金基準額の平成27年度と、平成28年度を比較してみると、所得割額が平成28年度は4階に細分化され、4階層にも「母子・父子、障害者家庭」の軽減が行われ、標準時間保育の保育料は3階層、4階層とも3歳未満児も3歳以上児も、1人の場合半額へ、二人以降はゼロへ軽減されている。一方、「その他一般家庭」は、村民税が均等割のみ世帯の3〜2階層以降の軽減はなされていない。

答 現在、「その他一般世帯」でも非正規職員が多く、正職員でも低賃金の若者の保育料を軽減し、子育て支援を行うべきだと思つが、その考えはな

いか。国の示す保育料徴収金基準額が、平成27年度



名嘉 實 議員



運動会で頑張る保育園児

に引き続き、平成28年度も見直され、本村においても国の基準に準じ改正を図ってきたところで、多子世帯とひとり親世帯には軽減が図られました

が、議員お説のとおり3階層以降の「その他の一般世帯」区分について、4階層で若干の細分化がなされたところでありますが、全体的な軽減策に至っていない。平成29年度は、非課税世帯、ひとり親世帯等を対象に無料化を実施し、平成30年度をめどに徴収金基準額の細分化を含め、保育所の運営状況を見極め、全体的な保育料の軽減策を講じたい。

② 小学生と中学生の入学準備金について

村長／支援等について検討していきたい

問 平成28年度新入学生学用品費の支給の補助限度額は、小学生で2万9000円、中学生で2万3,900円となつているが、この金額の積算根拠を伺いたい。文部科学省の2017年度予算（案）では、要保護児童生徒援助費補助金単価の内、新入児童生徒学用品費は、小学生で平成16年度2万4700円から、平成17年度4万6000円へ、

中学生が2万3,550円から4万7,400円へ引き上げられています。主要保護児童生徒に対して、補助限度額を引き上げるべきではないでしょうか。また支給時期を入学後ではなく入学前にすべきだと思つが見解を伺いたい。

答 1つ目の、積算根拠は、国庫補助単価として小学生1万9,900円、中

学校2万2,900円を支給しているところでございますが、平成28年度からは、沖縄県子ども貧困対策推進交付金事業により拡充された費用を、それぞれ1,000円追加して、小学生2万900円、中学生2万3,900円を交付したいと思つています。

2つ目の、主要保護児童生徒に対しても補助限度額の引き上げを行うべきではないか。でございますが、議員お説の要保護世帯の単価引き上げと同額の支援につきましては、今後検討したい。

3つ目の、支給時期を入学前にすべきについてですが、現在の制度では、その世帯の課税等認定状況の調査が必要なことから、入学時前の支給は行つていませんが、そのような制度構築ができるのかについて、検討したい。



西小学校入学式（24人）



伊江小学校入学式（13人）

① 6次産業化へ向けた加工支援施設について

村長／6次産業化の推進に資するよう取り組んでいきたい

問 地方創生のひとつとして各地域にて、6次産業化の事例をよく見聞きする事がある。

これまで生産のみを行っていた農家が加工（商品開発）や流通、販売までも行うことにより、農作物に付加価値を付けることで農業の活性化、新規就農者拡大等の地方の元気に結びつける目的で、国を挙げて推進している取り組みである。

本村においても「水あり農業」へと移行していくなか、既存の作物と新規作物との共存による農業の活性化が期待されている。特に新規就農者の拡大は、新しい発想の農業を展開されることが想定される。そのような就農者を支援するために加工支援施設が必要になると考えるが、以下の点について伺いたい。

1. 現在、黒糖工場敷地内に併設してある伊江村農産物食品加工センターを、商品開発支援施設として一般開放し使用できないか。



内間 広樹 議員

2. 新たに「と畜場」施設を設置できないか。

平成16年度に工事着手した地下ダム工事が完成し、圃場への給水栓の整備も進み、「水あり農業」へと移行していく中、新規作物、新規就農者の拡大を図り、これからの農林水産業の振興を図る上でも6次産業化の推進は、重要な施策と考えております。

答 伊江村農産物食品加工センターは平成16年1月に開所し、伊江島アイスクリームや島ラッキョウドレッシング、紅いものペーストなど村を代表する特産品を製造しております。加工センターの一般開放につきましては、これまで村内の福祉団体が落花生を焙煎するため、調理室のオーブンの使用や、自営業の方がジェラート作りのためアイスクリーム製造室を使用するなど、個々の申請に応じて開放しております。

また、初めて施設の機器等を使用する団体、個人につきましては、加工センターの職員も付き添い、機器の使用方法などを指導しております。今後も、引き続き個人や団体による加工の相談や機械の使用などを開放し、新たな付加価値のついた商品開発、販路開拓の取り組みに協力していきたいと考えております。

新たに「と畜場」施設を設置できないかについては、「と畜場」とは「一般と畜場」と「簡易と畜場」に分類されますが、と畜場法により、まず、「一般と畜場」は生後一年以上の牛、若しくは馬または、1日に10頭をこえる獣畜（牛・豚・めん羊及び山羊）をと殺し、または解体する規模を有すると畜場を指します。

次に、「簡易と畜場」は、「一般と畜場」以外のと畜場という定義でござります。このことから、概略的には対象獣畜の月齢と一日にと畜する獣畜数によって分類されております。

一般、簡易に関わらず、と畜場の設置に関しては、「と畜場法」に係る施設構造設備基準や排水処理の課題、さらには、施設常駐獣医師やと畜・解体免許資格取得者等の専門的な雇用条件の確保等多くの検討課題があり、その必要性、管理運営方法等、先進事例を調査研究し、環境衛生面や6次産業化の推進に資するよう取り組んでいきたいと考えております。



伊江村加工センター



落花生を加工処理中

※一般質問の詳しい内容については公民館またはホームページの議事録をご覧ください。

議決の結果

平成29年第1回臨時会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
認定第1号	村道の路線廃止について	村長	3月2日	原案可決
議案第1号	伊江村総合運動公園野球場整備工事(土木)の請負契約について	村長	3月2日	原案可決
議案第2号	伊江村総合運動公園野球場整備工事(建築)の請負契約について	村長	3月2日	原案可決
議案第3号	伊江村総合運動公園野球場整備工事(電気整備)の請負契約について	村長	3月2日	原案可決

議決の結果

平成29年第2回定例会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
報告第1号	平成29年度沖縄県町村土地開発公社事業計画の報告について	村長	3月10日	原案報告
報告第2号	西崎漁港整備工事の専決処分の報告について	村長	3月10日	原案報告
報告第3号	ミースィ公園整備工事の専決処分の報告について	村長	3月10日	原案報告
議案第4号	平成29年度伊江村一般会計予算	村長	3月17日	原案可決
議案第5号	平成29年度伊江村診療所特別会計予算	村長	3月17日	原案可決
議案第6号	平成29年度伊江村国民健康保険特別会計予算	村長	3月17日	原案可決
議案第7号	平成29年度伊江村後期高齢者医療特別会計予算	村長	3月17日	原案可決
議案第8号	平成29年度伊江村水道事業会計予算	村長	3月17日	原案可決
議案第9号	平成29年度伊江村船舶運航事業会計予算	村長	3月17日	原案可決
議案第10号	平成28年度伊江村一般会計補正予算(第5号)	村長	3月10日	原案可決
議案第11号	平成28年度伊江村診療所特別会計補正予算(第5号)	村長	3月10日	原案可決
議案第12号	平成28年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	村長	3月10日	原案可決
議案第13号	平成28年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	村長	3月10日	原案可決
議案第14号	平成28年度伊江村船舶運航事業会計補正予算(第3号)	村長	3月10日	原案可決
議案第15号	伊江村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	3月10日	原案可決
議案第16号	伊江村職員の勤務時間に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	村長	3月10日	原案可決
※ 議案第17号	伊江村出産待機時の宿泊代の助成に関する条例の一部を改正する条例	村長	3月10日	原案可決
※ 議案第18号	伊江村未熟児養育医療受療児の母親の宿泊助成に関する条例の一部を改正する条例	村長	3月10日	原案可決
※ 議案第19号	伊江村人工透析医療受療者の宿泊料助成に関する条例の一部を改正する条例	村長	3月10日	原案可決
議案第20号	伊江村要保護児童対策地域協議会設置条例の制定について	村長	3月10日	原案可決

議決の結果

平成29年第2回定例会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
議案第21号	伊江村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	村長	3月10日	原案可決
議案第22号	伊江村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	村長	3月10日	原案可決
議案第23号	伊江村税条例の一部を改正する条例の制定について	村長	3月10日	原案可決
議案第24号	伊江村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	村長	3月10日	原案可決
議案第25号	伊江村農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	村長	3月10日	原案可決
議案第26号	伊江村体験交流施設の指定管理者の指定について	村長	3月10日	原案可決
議案第27号	村営西部西地区土地改良事業の施行について	村長	3月10日	原案可決
議案第28号	村営東江上第2地区土地改良事業の施行について	村長	3月10日	原案可決
同意第1号	教育委員の任命について	村長	3月17日	原案同意

議決の結果

平成29年第3回臨時会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
報告第4号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果に関する報告書の提出について	村長	3月28日	原案報告
議案第29号	平成28年度伊江村一般会計補正予算(第6号)	村長	3月28日	原案可決
議案第30号	平成28年度伊江村診療所特別会計補正予算(第6号)	村長	3月28日	原案可決
議案第31号	平成28年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第6号)	村長	3月28日	原案可決
議案第32号	平成28年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	村長	3月28日	原案可決

議決の結果

平成29年第4回臨時会

議案番号	件 名	提案者	議決月日	議決結果
承認第1号	専決処分した伊江村税条例の一部を改正する条例の承認を求めることについて	村長	4月26日	原案承認
承認第2号	専決処分した伊江村固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の承認を求めることについて	村長	4月26日	原案承認
承認第3号	専決処分した伊江村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の承認を求めることについて	村長	4月26日	原案承認
同意第2号	副村長の選任について	村長	4月26日	原案同意
議案第33号	平成29年度伊江村一般会計補正予算(第1号)	村長	4月26日	原案可決

議決結果
説 明

- ※議案第17号については 平成29年4月1日より1泊あたり4,600円から5,500円へ改正
 ※議案第18号については " 1泊あたり4,600円から5,500円へ改正
 ※議案第19号については " 1泊あたり4,600円から5,500円へ改正

“みんなの声”



聞いてみました

村内の産業や各地域で頑張っている方々にスポットをあて、地域の声を掲載しています。第3弾として収穫最盛期の葉たばこ生産者の皆さんに聞きました。



まえだ しょうた
前田 将太
(東江前区)

前田さんは、現在36歳で作付面積は600a、4男1女の大家族のお父さんです。7月に6番目のお子さんが産まれます。

子供たちを養うために一生懸命働いています。

前田さんから一言

機械が老朽化し買換えたいが、葉たばこへの補助事業等があれば助かります。

農地が少ないのに農地を削ってまでの総合運動場の計画は場所を再考してほしい。



家族総出で収穫作業中の前田さん



みやぎ しげと
宮城 茂人
(西江上区)

宮城さんは、現在42歳で作付面積400a、葉たばこを生産して20年を迎え昨年からは沖縄県たばこ耕作組合の青年部長も務め、葉たばこの振興発展に努力しています。

宮城さんから一言

求人情報誌やインターネットで呼びかけてもパートが見つからず生産農家、共同乾燥場も人手不足で困っています。どのような方法で求人募集を行えば良いか困っています。



収穫作業に追われる宮城さん



こはま かつよし
小浜 勝良
(西崎区)

小浜さんは、現在64歳で組合員の中で最年長ですが、現在も400aを作付し若者に負けず島の産業である葉たばこ生産に取り組んでいます。

小浜さんから一言

平成4年度に導入した西川共同乾燥場の乾燥機が古く、いつ壊れてもおかしくない状況にあるので補助事業等があれば助かります。また、雇用者が見つからず多くの葉たばこ生産者が困っています。求人募集法について村と協議出来ないか。



葉たばこの生育状況を確認

研修報告

Training report

観光地域づくり 離島議員研修会

全議員 H29年2月22日

今回の研修では、離島議員162人事務局員29人総勢191人が一斉に集い、那覇市の自治会館で研修があり、清水愼一氏が「これからの離島振興について」と題し講演が行われました。

その後、北部地区の離島を抱える4町村による交流会を開催し有意義な意見交換を行った。



清水氏による講演

これからの課題 町村議会議員研修会

全議員 H29年2月23日



大原農園にてバジル栽培を学ぶ

町村議会議員研修会では「平成29年度町村予算と行財政運営」と題し、沖縄県企画調整統括監の宮城力氏が講演、また「日米地位協定について」と題し沖縄国際大学大学院教授の前泊博盛氏が講演を行いました。沖縄の行財政や基地の実情を学びました。

また、本村でも昨年からアジア野菜の研究栽培が実施されており、南城市にあるバジル栽培施設の視察も行った。

議会運営の向上を目指して 伊江村議会講習会

全議員協議会 H29年5月18日



石垣事務局長による講習会

講習会では、資質の向上に向け沖縄県町村議会議長会の石垣安秀事務局長を本村に招き、議会の進め方や一般質問などについて積極的に意見交換が行われた。

この講習会で学んだことを今後の議会運営に繋げていきたい。

行政視察対応

平成29年5月9日には、静岡県御殿場市議会より4名の議員が本村で視察研修を行い、本村の行政、観光産業、基地問題等について意見交換を行いました。



講習会の様子

フッタウマイ

「フッタウマイ」とは伊江島の方言で「私たちの思い・考え・真心・愛情」という意味。



伊江歯科の屋宜宣寿(やぎのぶひさ)先生によると虫歯の平均本数が伊江島の小学生で1.05本、沖縄県が2.1本、全国が0.99本となっています。

歯を治療することで生活習慣病の予防にもなるので、いつでも伊江歯科に来てください。

☎49-2214

教え子がPTA
になっている
(^_^)

今回で伊江島に3回目の赴任となる伊江小学校の比嘉悟(ひがさとる)校長は、伊江島で教育の原点を学ばせていただいたので、「皆さんに恩返しをしたい」と意気込んでいます。

宜しくお願いします。



伊江島の
伝統文化を
復活させます



編み手が高齢化し現在では見かけなくなったアダン葉帽子を、現在に残し継承していきたいと宜野湾市の糸数弓子(いとかずゆみこ)先生を迎え製作に取り組む皆さん。

現在20名ほどが講習を受けています。

議会の活動

平成29年
3月

- 1日：堆肥センター完工式典・祝賀会(全議)
- 2日：第1回伊江村議会臨時議会(全議)
- 2日：伊江島民泊感謝の集い(議長)
- 3日：平成29年北部広域市町村圏事務組合議会第49回定例会(議長)
- 3日：平成28年度「防風林の日」関連行事植樹祭(全議)
- 6日：東村文化・スポーツ記念館落成式・祝賀会(議長)
- 6日：議会運営委員会(運営委員)
- 9日：第2回伊江村議会定例議会(17日まで)
- 10日：議員全員協議会
- 11日：伊江中学校卒業式(全議)
- 18日：伊江村民収容地跡記念碑移設建立除幕式・祝賀会(全議)
- 23日：2小学校卒業式(全議)
- 24日：北部地域における基幹病院の整備を求める
北部12市町村住民総決起大会(全議)
- 27日：基幹病院整備県要請(議長)
- 27日：名誉村民『岡本行夫氏』来村と講演会(全議)
- 28日：第3回伊江村議会臨時議会(全議)
- 28日：伊江村総合運動公園野球場整備工事起工式(全議)
- 31日：伊江村役場退職者辞令交付式(議長)



防風林の日(西江上区タチセの森)



伊江村民収容地跡記念碑
移設建立除幕式(久志)

4月

- 3日：伊江村役場新職員及び人事異動に伴う辞令交付式(議長)
- 7日：さとうきび製糖終了報告会(全議)
- 8日：第25回伊江島一周マラソン大会(全議)
- 10日：2小学校入学式(全議)
- 16日：アーニーパイル慰霊祭(議長)
- 18日：伊江村長及び伊江村議会議員補欠選挙の当選証書付与式(全議)
- 19日：第73回伊江村青年会定期総会(議長)
- 20日：新任教職員歓迎会(全議)
- 21日：芳魂之塔平和祈願祭(全議)
- 22日：第22回伊江島ゆり祭りオープニング(全議)
- 22日：灯台慰霊祭(議長)
- 24日：北部市町村議会議長会監査(議長)
- 24日：伊江村老人クラブ連合会総会(全議)
- 26日：第4回伊江村議会臨時議会(全議)
- 26日：伊江村婦人会定期総会(議長)
- 27日：北部市町村議会議長会臨時総会(議長)
- 28日：沖縄振興拡大会議(議長)



当選証書付与式
左から島袋村長・知念議員

5月

- 9日：静岡県御殿場市議会視察研修受入れ(議長)
- 10日：北部市町村議会議長会第1回理事会・定期総会(議長)
- 10日：イージマ郷友会新高校生激励会(副議長)
- 11日：沖縄県町村議会常任委員長・副委員長研修会(正・副常任委員長)
- 11日：北部地域の道路網の整備促進並びに離島架橋の
早期実現に向けた決起大会(議長)
- 12日：子牛畜産共進会(全議)
- 18日：全員協議会・研修会(全議)
- 18日：伊江村人材育成会理事会・総会(全議)
- 25日：村出身公務員会総会・懇談会(議長)
- 25日：平成29年度伊江村商工会通常総会(副議長)
- 26日：議会広報特別委員会
- 27日：第25回伊江村チャリティーなつメロの夕べ(全議)
- 29日：海神祭(全議)
- 31日：北部地区議会議長会研修会(北海道：議長)



第22回伊江島ゆり祭り
オープニング



各区代表の子牛が勢ぞろい



わーどっ はちゃんどー

題字を書いていただいた
内間梅正さん
昭和2年7月9日生まれ（満88歳）
（東江上区・ウサパンタ家）



題字執筆者紹介

現在グループホームご入所中の梅正さんは、カラオケがご趣味で特に軍歌が得意。

それに増し奥様の面会が何より一番の楽しみな梅正さんです。

昔から達筆だったとのこと、題字も一発でお見事に書いて下さいました。

議員 紹介



平成29年4月18日付けで当選証書を受けた東江上区の知念一吉です。

これから、伊江村議員として地域の事、伊江村の事をサポートしていきたいと思しますので宜しくお願い致します。

※6月は定例議会が開催されます。（防災無線で周知します）

編集後記

議会広報特別委員会では、『ワッタウムイ』、『みんなの声聞いてみました』など、新しい企画にも取り組んでいます。これからも村民皆様に興味を持っていただく広報誌作りに取り組んでいきたいと思ひます。

ご感想やご意見・ご要望をお寄せ下さい。
宜しくお願いします。

事務局 知念一史

傍聴席へどうぞ

傍聴を希望される方は、お気軽に議会事務局までお問い合わせください。



タツちゅん

TEL 0980-49-2924 (直通)